

漢字ミュージアムと東山の古寺を訪ねる 活動報告

担当 2班

【実施日】2019年8月23日(金) 天気:雨一時曇り

【集合】漢字ミュージアム館内 10:00

【参加者】68名

【参加費】600円(漢字ミュージアム入館料700円・建仁寺拝観料500円の内600円はそら組負担)

【行程】漢字ミュージアム(10:00~12:00 2グループに分けて見学 12:00~13:00 昼食・班長会議・集合写真)⇒花見小路通り(徒歩8分)⇒建仁寺(拝観 ~ 14:30 解散)

【概要】午前午後とも雨天の為、漢字ミュージアムと建仁寺の2か所に絞り活動。建仁寺への移動は、運よく曇りで到着する。涼しくゆったりとした行程でした。

漢字ミュージアム

2016年6月に日本漢字能力検定協会が「広く世界に日本の漢字文化を発信する施設」として京都にオープンした日本で初めての体験型の展示を前面に出し、漢字の歴史を楽しく学べる施設です。



〈今年の漢字 災の実物〉



〈体験シートに万葉かな等スタンプを押す・そら組〉



建仁寺

京都最古の禅寺で臨済宗建仁派の大本山。 国宝の風神雷神図屏風の高精密複製作品を展示(所蔵の作品は現在国立博物館に寄託)・小泉淳作画伯による法堂の天井画「双龍図」など。



〈大雄苑の枯山水様式の前庭で こころ静かにひと時を過ごす〉



〈双龍図〉

【班所感】

漢字の歴史が良く分かり、改めて日本人の優秀さを再確認した。漢字の生い立ちが面白く良く分かって楽しめました。大人も子供も楽しめる工夫があり楽しかったです。楽しい趣向をこらしてあり大人も楽しめた。

ある地域だけ使われる方言漢字の存在をしりませんでした。少しビックリ! 漢字文化、特に漢字に由来する方言に興味をもった。中国から伝わった漢字が日本で進化し今私達が使っていると思うと感慨深いものがあります。認知症予防に最適なところで、頭が活性化しました。最高! 多くの知らない漢字に触れ楽しい一日でした。

漢字検定にチャレンジしている、賢者そら組のメンバーには2級の合格者多数あり。

風神雷神図屏風を見ることができた。天井画の双龍図の迫力は素晴らしい、圧巻でした。制作過程のビデオで見てからの観賞だったので、なおさら見応えがありました。

